

第4回匝瑳市市民協働推進協議会 会議結果概要

- 開催日時 平成29年3月29日(水) 午前10時から11時15分まで
- 場 所 市民ふれあいセンター 会議室
- 出席委員 鎌形委員、木内(成)委員、木内(千)委員、尾原委員、勝又委員、加瀬委員
(6名) 名簿順
(欠席委員) 大木委員、越川委員、大久保委員(3名)
- 市出席者 (事務局/環境生活課) 加瀬課長、鎌形統括、仲田副主査

発言者	内 容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 鎌形会長</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 匝瑳市市民提案型事業助成金交付要綱及び平成29年度匝瑳市市民提案型事業募集要項について</p> <p>※上記(1)について会議資料を基に説明</p>
委 員	<p>《各委員からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報に掲載されたが反響はあるか。 ・現在ありません。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・募集するのに提出書類やプレゼンなどハードルが高い。もっと簡単にできないか。今までの行政主導と変わらないので協働にはならない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・「行政主導でない」というのが市民協働であるが、市民の意識がまだ高くない。本来の姿ではないが、まずは行政側から協働の働きかけを行うべきである。市の執行部で市民協働推進本部などを立ち上げて推進していかないと難しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民提案型事業の提案などは、サポートセンターとの関わりが深くなってくると考えます。まずはサポートセンター窓口に来ていただいて相談から提案手続きなど、担当の職員と一緒に協議しながら進めていきたいと考えています。「サポートセンター」の認知についても課題と捉えており、提案型事業と同時進行で周知していこうと考えています。具体的には、サポートセンター職員を中心に、それぞれの市民活動団体へサポートセンター利用の宣伝を兼ねて働きかけをしていきたいと思えます。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働市民会議のようなものを検討してはどうか。また、市民協働担当としての人的配置がなされているのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人的配置については再任用職員の配置が決定しました。新たに配置される職員については、先進市に出向きサポートセンターを研究、市民協働の研修に積極的に参加させる予定です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4月広報には募集の記事が載るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。掲載されます。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・これから総会シーズンになる。5月には地区社協の総会も開催予定であるが。総会を含めた各会議において、委員の皆様には事業の周知をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知をする際に、モデルケースなどがあると分かりやすいが。「事業」という文字がでるだけで敬遠される。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルケースや先進事例については、行政ですで行っている事業との整理をしながら検討します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体に市民提案型事業の募集が伝わっていないと考える。そのような団体を一度集めて、そこで説明をして意見を聞いてみるというのも一つの手段でないか。紙面や広報より、直接話しかける方が分かりやすいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・配置される職員は専従か。そうであれば、その職員がポイントになる。直接団体の元に足を運び、アドバイスをするなどフットワークが軽い方でなければいけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・応募の締め切りについては5月31日必着を変更して延ばせないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・締め切りについては、二次募集も含めて検討します。また、次年度の事業についても夏過ぎには募集をできるように進めていきたいと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の手続きには理解するが、市民協働を進めていくには、もっと柔軟に対応し今までの行政とは違った対応をしていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が野栄地区の福祉センターへ移転する。社会福祉協議会のつなぎ役となる職員を週に数回、サポートセンターへ常駐させ事業の連絡役にすることも検討している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委員としてもサポートセンターに足を向けできる限り協力したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配置される職員も週5日勤務である。環境生活課とも繋がっており自由に入力できるので、ご協力願いたい。また、委員で行っていただいている市民協働の勉強会なども、サポートセンターを会場に開催していただき、配置される職員も一緒になり話し合いを行えばよいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の開設も検討してほしい。
事務局	<p>(2) 平成29年度活動スケジュール(案)等について ※資料を基に説明</p>
委員	<p>《各委員からの質問・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働セミナーについて、平成29年度募集締め切りの前に開催できないか。各種団体の長や役員が集まる市民協働会議でも構わない。

事務局	<p>・検討します。</p> <p>(3) その他</p> <p>※各団体において役員改選に伴う委員の交代について確認した。</p> <p>4. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
-----	--